

仏壇掃除

先日、祖父母の家にある仏壇を掃除することがありました。仕事柄、少しは仏壇も見せてきているので、「ここが引き出しで…ここも引き出しで…」と引き出しを整理していると一緒に片付けていた親族が驚いておりました。その反応をみていつから開けていないのかと気になりつつ掃除を進めていくと、不自然に一カ所だけ木がなくなっているところがあり、仏壇が壊れていると思いを伸ばすと壊れていると思っていたところは引き戸になっておりました。

私自身、その部分が引き戸になっている仏壇を初めてみたのでおそろおそろ開いてみると、中にA5サイズの箱がありました。出してみると宗紋が描かれている箱で中から経本がでてきました。

引き出しを忘れていた親族なので、引き戸についても覚えておらず、経本についても覚えておらず、一度も開かれたことのない経本はすごくきれいな状態で保管されておりました。経本なので読んだ方がいいのだろうと思いつつ、元の場所へ戻しておいてと言われたのでまた片付けてしまいました。

今回の掃除で仏壇から色々な物が出てきました。整理をして、具足も綺麗に磨いてご先祖様も喜んでくれたかなと思います。



やまさき

LEDの照明

最近では一般的になったLED照明ですが、10年前は高価なものでした……。

そんなLED照明は、今や当たり前の照明器具になってしまいました。

電気代が安く、球切れを起こしにくい長寿命などがメリットですね！

高知葬祭館でも「白熱電球・蛍光管」→「LED照明」

へと移行する時期がやってきました！

少ない電力でとても明るい光を出せるLED照明で「ECO」に貢献です！

皆さんも日ごろあまり気にしない照明器具だとは思いますが、天井を見て「次に電球が切れたらLED

に変えようかな？」と少し考えてみてはいかがでしょうか？



たかはし

樹木葬



～自然に還るお墓～



すずき

今回の現地見学会は完全予約制となっております

※ご予約の無い場合見学会の開催を控えさせていただきますのでお越し頂く方は必ずご連絡をお願いします。

8月22日(日)

10:00~16:00

城見ヶ丘 樹木葬エリア

現地見学会開催

安心の
永代供養
生前
申込可
これまでの
宗旨・宗派不問
承継者不要



永代使用料、管理料、銘板付【1区画 約40cm角】1名様用 410区画

35万円税別

喜ばれ、墓地の無料相談会も同時開催中

ご購入者全員にプレゼント致します

ドリーマーならではの限定特典

特典① カタログギフト Ramie

特典② 特別割引券 10,000円

ドリーマーでできる

ドリーマー 樹木葬

無料送迎バスは完全予約制

お電話にて予約受付中
氏名・住所・電話番号をお伝えください。

送迎

9:00 神田葬祭館 発 12:30 神田葬祭館 発
9:30 高知葬祭館 発 13:00 高知葬祭館 発

現地ご見学・ご相談会

10:00~ 13:20~

送迎 ※時間変動あり

11:00 城見ヶ丘 発 14:00 城見ヶ丘 発

直接現地へお越しただいてもOKです。10:00~16:00

お問い合わせ・お申し込みは 販売代理

株式会社
ドリーマー高知葬祭館

受付時間 AM10:00~PM6:00(年中無休※年末年始を除く)

〒780-0071 高知県高知市高橋11-24 TEL.088-883-8611

0120-370-983

ドリーマー 樹木葬

検索

高知市/高知市宇津野字宇津野118番5 許可番号 26 高知市 第17号
許可年月日 平成26年8月14日 許可法人 財団法人山神山山法曹事務所 高知市一宮町五丁目35番3号

ドリーマー

かわら版

第72号

お葬儀コラム 友引と葬儀の関係

今回は、六曜の中のひとつ「友引」と葬儀の関係について考えてみたいと思います。

六曜を簡単に説明しますと、その日にやってはいけないこと、行ってはいけないことの指標の一つであり、その中にこの「友引」があります。

特にこの「友引」は、葬儀を執り行うことに関しては避ける日であるとされます。友人や知り合いを引き込んでしまう……と考えられているからです。

高知の葬儀事情は、葬儀ができないというわけではありませんが、通常は葬儀と出棺を一緒に行うことがほとんどです。

高知市の火葬場は友引の日がお休みの為、葬儀を行っても出棺できない為、友引をさけて日程を決めています。

通夜に関しては友引でも執り行うことが多いようです。宗教者の方々も友引に通夜を行うことに関しては大丈夫のようです。

ただし、市内を離れると通夜も友引に行うことを避けるようです。

当社HPでさらに詳しくご紹介しております。QRコードもしくは、当社HP内「高知葬祭お葬儀コラム」よりご覧いただけますので参考にしてください。



なかもり

フリーコール 0120-370-983

お盆の豆知識～お盆のはじまり～

お盆とは、7月15日を中心に行われていた先祖の御霊を祀る行事のことです。しかし、年によって旧暦のお盆の日が一定しない為に1ヵ月遅れの8月15日に行うお盆が始まったと考えられており、現在では8月15日前後が主流となっています。お盆休みの期間を利用して家族や親族が集まるのが理由のひとつになっていると思われ、高知でも「月遅れ盆」で8月15日を中心に行うところが多くなりました。地域によっては、7月15日を挟んで行っているお家もあります。

新盆：7月13日～15日 月遅れ盆：8月13日～15日 旧盆：8月20日～23日

仏教では、お釈迦様の弟子が自分の母親を助けるために7月15日に供養したことからお盆が始まったとされています。また、お釈迦様の生まれたインドでは、僧は一カ所に落ちて修行を行い、7月15日に修行を終える僧にお布施をすれば先祖の供養になると考えられており、それがお盆の起源だとも言われています。

お盆の迎え方

お墓参り

お盆月の13日夕方までにお墓参りに行き「お盆の期間は家に帰って来てください」とご先祖様の霊にお願いをします。

迎え火

昔は、お盆月の13日夕方から夜通しで「たいまつ」を家の前で焚いていましたが、現在は住宅事情などにより、市販されている迎え火のセット等を使われる方が増えています。

送り火

昔は、お盆月の16日夕方から夜通しで「たいまつ」を家の前で焚いていましたが、迎え火同様に簡素化されているようです。

皆さんは、お墓参りの際、普段どんなお花をお供えますか？お盆には白い花が基本とされてきましたが、最近では黄色・紫・ピンクなどの明るい色と一緒に供える方も増えてきました。「初盆」「新盆」については白い花で統一して飾ることが一般的です。故人の好きな花をお供えされる方が増えていますが、トゲのある花・香りの強い花・毒のある花・つる性の花はふさわしくないとされていますので気をつけましょう。



ながaura